

平成 1 8 年度

第 6 回 作手地域審議会

平成 1 8 年 7 月 1 9 日

新城市作手総合支所 第一会議室

13:30開会

会長あいさつ

会長

作手総合支所長あいさつ

池田総合支所長

議事録署名委員指名

斎藤委員

矢頭委員

欠席委員報告

松井委員

議題(1)めざせ明日のまちづくり事業審査について

亀山城址、古宮川環境整備クラブ

野郷区

明和区

あめんぼ読書会

事務局より審査方法について、事業者の説明(5分間) 質疑応答(5分間) 審査(5分間)とし、審査表については、閉会后回収し、事務局で点数を集計する旨、審議会委員が申請事業者の構成員となっている場合も審査に含め、最高点と最低点を除いた平均点により事業の順位付けを行う旨を説明。また、閉会后、非公開により来年度に向けての意見交換の場を設けたい旨のお願いをした。

委員

はい。始める前に質問してよろしいでしょうか。

会長

どうぞ。

委員

今の説明で、質疑応答が終わったら審査表に1から5までの点数に丸を付けるということでよろしいですね。それから審査員のコメントは、できるだけ書いたほうがよろしいのでしょうか。

事務局

感じたことを書いていただければと思います。枠が小さいので、書き足りない場合は裏面を利用していただいても結構です。

委員

名前は書かなくてもよい。

事務局

無記名で結構です。それから採点につきましては、一番高い点数の方と一番低い点数の方を除いて集計をしたものを平均して、それをこの事業の点数として位置づけします。

会長

要するに0から5まで数字が書いてある。そのどこかに丸をうつだけでいいのですね。

事務局

はいそうです。

会長

小計欄は書かなくてもよいということですね。

事務局

はい結構です。

会長

最高と最低を除いた平均を出してそれを即送るわけですね。順番を付けて送るということでいいですね。

事務局

作手を集計して順番を付けて出したいと思います。

委員

はい。

会長

はいどうぞ。

委員

基本的には資料を事前にいただいていますので、中身についての分からないことの質問を主にして、一応書かれていることは尊重して、もっとこうしたほうがよいとか、そういうようなことはあまり言わないほうがいいですね。主体は申請者だから、私たちは基本的には申請の中身が審査項目に沿って適切かどうかということ判断するために、内容を質問することということですね。

事務局

そうです。言葉で言わないことは、コメント欄等に書いていただければよろしいかと思います。

委員

はい。

会長

どうぞ。

委員

今回この4件が事業審査に上がってきていますが、説明の5分を聞いていきなり活動の実現性から順位をつけるということになっているのですが、その前段階の審査というのは無いということですね。

事務局

申し訳ありませんが無いです。事前に資料をお配りいたしましたので、それを見ていただいてということをおもっておりますので、この後の意見交換の

場でそういった意見が出れば、終わった後採点を時間をかけてやっていただくことは結構かとは思いますが。

委員

ということは、この4件については採点により順位はつきますが、1番から4番ということで全て市長まであがるということですか。

事務局

そういうことです。

会長

確認をしておきたいと思いますが、この審議会委員さんが、それぞれの申請のあった団体の構成員になっておられる方が若干おられますが、特に役員にはなっておられないようではあります。そうした方も審査に加えていくのかどうか、その点だけ確認をさせていただきます。

事務局

3地区の担当者の打ち合わせを行いまして、そういった意見も出ました。一応格好としては一番最高の点数と最低の点数を無視して、その間のものを評価して平均を出すということで、3地区同一歩調でやろうということで決まりました。すでに新城・鳳来は終わっております。よろしく申し上げます。それでは入っていただいて良いですか。

会長

それでは1番の方から入っていただきます。

亀山城址、古宮川環境整備クラブ

入室

事務局

説明時間は5分間、質疑が5分間の10分間しかございませんので、時間になったら合図をします。よろしくお願ひしたいと思います。まず一番目の亀山城址、古宮川環境整備事業ということで、団体の方に来ていただいておりますので、説明をお願ひしたいと思います。お願ひします。

亀山城址、古宮川環境整備クラブ

私たちの住む清岳地内には、奥平の本城として5代165年栄えた亀山城址があります。近年行政としても隣接する土地等を取得されて、前向きに整備をされておるということで、非常に地元民として喜んでいるわけであり。そして私ども日々目の前にする亀山城址でありますけれども、いまいち地元の人たちの目が、足がもっと向いていかないだろうか。そして憩いの場とならないだろうか。というようなことを日々心ある人たちと話しておったわけであり。今期新城市のまちづくり事業というものが出されまして、みんながこれに一つ乗ってみようじゃないかというようなことから、地域の皆さんの気持ちを引き立てるためにも、素人集団としてクラブを立ち上げて、申請をいたしました。計画につきましては、計画書のとおりですが、樹種、植える木の種類でございますけど、これにつきましては、桜としては江戸彼

岸桜、ほかにヒトツバタゴ、なんじゃもんじゃと言われている花でございますけれども、地元の植物の大家であられる 先生のご指導を仰いで決めさせていただいたわけでありませう。また、植樹については、地元の先生で、非常に植物にも明るく樹木医といわれる程の腕を持っておられる、庭師であられる 先生のご指導の下に、今後作業を進めてまいりたいと思っております。そして、非常にささやかではありましたが、私ども地元で年末年始にイルミネーションを出しておりました。それも8回目となりますけれども、これも今後のこの事業に取り入れて、場所を城址前にセットし、現在非常に繁盛していますつくで手作り村と連携をして、周辺を一体とした目玉とし、地域住民の環境に対する関心、また、城址を目玉とするというふうに作り上げていきたいと思っております。簡単ではございますが以上で説明いたします。

会長

ありがとうございました。委員さんから何かご質問等ございましたらお願いしたいと思います。

委員

はい。

会長

委員どうぞ。

委員

と申します。非常に今回も良い取り組みだと思います。それでちょっと分からないところを1～2点教えていただきたいのですが、まず事業の中身で2ページ2枚目の一番最後に古宮川の冬の風物詩のイルミネーションの充実ということで、先程もお話されたのですが、12月とか1月というところ、こちらのほうは観光客が少ないと思うのですが、このイルミネーションの狙いと、予算の中を見ますとイルミネーションの値段が結構かかっていると思うのです。このイルミネーションをもうやろうと決められてしまっているのか、まだいろいろなことの兼ね合いも考えながら、もう少し考えようという余地があるのかどうかということ、市民の皆さんにも目立つところなので、そこのところはどうお考えかなあと思います。亀山城と古宮川の清掃とか植樹というのは基本的に多くの住民も反対するわけではなく、たぶん賛成して、前向きにいろいろと協力していただける部分があるのですけれども、こういうイルミネーションのかかわりというものについては、それぞれ好き好きというものがあると思いますので、その辺どう考えられるかということをお伺いしたいと思います。

亀山城址、古宮川環境整備クラブ

イルミネーションといわれますけれども、街のほうでいうイルミネーションとは違って、作手の冬は本当に寒くて、寒々としているというか、夜には特にそういう感じを受けるので、明かりをつけて明るいというか、なんと

くほんわりとした雰囲気、冬の夜空にあれば良いんじゃないかという意味もあって、クリスマスの時期を中心ではなくて、年が明けても新しい年を祝うとかそういうような感じで今までもやってきました。それでどうしてこちらにということは、前にもそのような話が出て、今やっているところはちょっと国道から遠いということもありまして、亀山城がやはり市場のメインということがありまして、あそこにやれたらいいねっていう意見もあったんですけど、ここに書いてあるようにこれほとんど電気工事なんですよ。1年電気工事をしておけば、後は皆ボランティアでやれるということですので、せっかくこういう事業がありましたので、この機会に2箇所でするよう準備をして、1年こちらでやってみてとか、両方お手伝いして下さる方がたくさんいればどちらでもできるようにとか、そんなような意味合いでここに載せさせていただきました。

#### 委員

自分たちの地区にある文化財を自分たちで守っていくという精神は、素晴らしいものであると私は思います。バンバンにやってもらいたいなと思っております。それでちょっと古宮川の整備の中には分水点の整備も入っているのだなと、私、広い意味での解釈をしています。よろしくお願ひしたいと思ひます。お願ひすることばかりで申し訳ございませんが。ちょっとだけお聞きたいのですが、樹木の選定について、江戸彼岸桜となんじやもんじやヒトツバタゴを選定した理由というのは、きれいだからとか色々あるとは思ひますが、どういった理由でこの樹木を選んだのかその点だけ教えてくださひ。

#### 亀山城址、古宮川環境整備クラブ

私たちも素人で、これ植えるなら吉野桜だというような気持ちでいたのですが、ところが、まずこれは教育課のほうへもお伺ひをしたりして、まず地元に見える先生に教えを乞うてからというようなことでお伺ひをしたところ、やはり作手では江戸彼岸しかないということで、やはり病気に強い、長生きでもあるということで江戸彼岸桜しかないよということで、選定をしたわけでございます。それでヒトツバタゴでございますけれども、これは委員もよく知っておられるとは思ひますけれども、作手の場合は非常に少なく、また花として咲いたときに非常にすばらしく、雪が降ったように見えるというようなことを林先生にも言われて、ヒトツバタゴに選定をさせていただいたということでございます。

#### 事務局

ありがとうございました。時間になりましたので、申し訳ございません。今から5分間でチェックしていただいて、時間が少ないようでしたらまた、全て終わった後に時間をとりますので、0～5までに丸をうっていただければと思ひます。

#### 会長

亀山城址、古宮川環境整備クラブさんありがとうございました。

亀山城址、古宮川環境整備クラブ

退室

各委員

審査 5 分間

事務局

それでは終了します。次に 2 番目の方に入っていただきますので、よろしくお祈いします。

野郷区

入室

事務局

それでは 2 番目の野郷区環境整備事業について、野郷区の方に説明をしていただきますのでよろしくお祈いします。座ったままでお祈いします。

野郷区

ただいま紹介いただきました野郷区長です。よろしくお祈いします。それではまず事業の名称ですが、野郷区環境整備事業ということで名称を付けさせていただきました。事業の目的でございますが、ただ今皆様方に別でお配りしましたが、平成 16 年 9 月に策定した第 1 次野郷集落計画において、4 本の村おこし基本理念を掲げさせていただきました。その中の「美」を中心に今回は実施していくものでございます。総事業費につきましては 19 万 8 千 660 円ということで、内訳につきましては、4 枚めくっていただきますと、原材料積算内訳ということになっておりますので、ご確認ください。事業の概要でございますが、事業期間は平成 18 年 8 月 7 日から来年の 2 月 28 日までの予定でございます。事業選定の理由ですが、集落計画の「美」の中では、自然環境の保全を中心に、ごみの正しい出し方教室を開催するなど過去に実施してきましたが、現在可燃ごみの指定日に出す場合、現在公会堂に野天はあるわけですが、雨に濡れてしまうということで、ごみステーションを作ったらどうかということで、今後進めようとしています。ごみ減量化のため、地区から出るごみの量を周知するためにも計量したりしたいと考えて、このごみ集積所の整備を計画したものであります。一枚はねていただきまして 2 ページをお願いします。実施効果ですが、今回は原材料のみを購入して、建設までを全て地区内の住民の手で行っていくというものでありますので、よろしくお祈いしたいと思ひます。波及効果ですが、野郷区住民の多様な能力や知恵、技術を活用し、世代を問わず整備に住民総参加を呼びかけることにより、この精神が野郷区の後世まで引き継がれるものと思ひています。建物ですが、2 間の 1 間半ということで、間口が 4 メートル奥行きが 3 メートルくらいのもので、コンパクトなものでありますので、よろしくお祈いします。別紙の集落計画ですが、2 ページを見ていただきますと今まで取り組んだこととございますが、ごみの正しい出し方の教室の開催ですとか、

ごみを出さない減量化運動の展開ですとかをやってまいりました。3ページには今年も行いましたが、地域の花壇の整備ということで、国道301号沿いに花いっぱい運動として、高校からいただいた花を植えております。それと、12月には消防団を中心としてイルミネーションの継続を行っております。また、野郷区は独自で炭窯も作りましたので、炭作りと販売の継続というようなことでもあります。お祭りに際しましては、地域全員の記念撮影の永久継続ということで、昨年8月31日に制定いたしました野郷独自の木・花・鳥・魚等も決めております。ということで、第1次野郷集落計画を元にした一つの事業として計画いたしましたので、どうぞよろしくお願いいたします。

会長

はいありがとうございました。それでは質問等ございましたらよろしくお願いいたします。

委員

すばらしい計画を持っていらして、たくさんのことやっていらっしゃるのですけれども、今回このごみ集積所のお金だけ求められているのですが、もっといっぱいお金がいるのではないかと思います。その辺はどうですか。

野郷区

あまり欲深くてもいけないと思いましたが、とりあえず、まず幹から枝を少し出して徐々に徐々に考えております。

委員

区長さんということですので、区で取り組まれるとは思いますが、全体の話の中では区で取り組まれるということは分かるのですが、この事業計画、野郷区環境整備事業メインは集積所の構築だと思っておりますけれどもメインは、それで、住民全員でとっておられるのですけれども、たぶん活動を、作られるのを中心になってリードする人とか、具体的に動く方がいると思うんですよね。だからその方がどなたかなということが分かっていたら、はっきりしていただきたいなと思います。要するに、あることをやる時に区全体だというと責任がぼけると言うんですよね。そうでなくてこれをやるのでしたらどなたが責任者で、実際やる人がいる。たぶんいると思うんですよ。それで無いと色々進捗のときにどういう状況なんだとか、またそれを住民の皆さんにご説明されるとか。お金がかかりすぎたからどうするんだとか。ということ、区長さんはたくさんお仕事をお持ちでしょうから、区長さんが全てを取り仕切るわけではないと思うんですよ。この整備事業については、どなたかがたぶんメンバーを募られて推進されると思うんですよ。その推進される方を明確にさせていただけたらなあと思うのですが。

野郷区

原材料の見積もりだとか、建屋の図面は今日持ってはいないのですが、そういうものに関しましては野郷にいる専門の方をお願いしました。そして、ほかのものについては、区でまとめてやるということで、私が一応中心とな



って行くということでございます。

会長

他はどうですか。それでは質問等無いようですので、ありがとうございます。

野郷区

退室

事務局

今から5分間審査のほうをお願いします。

各委員

審査 5分間

事務局

審査をこれで終了しまして、3番目の方に入っていただきますのでお願いします。

明和区

入室

事務局

それでは、3番目の「ささゆり」の増殖研究事業ということで、明和の区長さんが見えておりますので、説明のほうをお願いしたいと思います。

明和区

それでは失礼します。書類はそれぞれのお手元にお配りしてあると思うのですが、「ささゆり」という案が出まして、何とか明和で増殖をしたいという話がありまして、以前は各地域で「ささゆり」がたくさんありました。私もこちらへ来てから、随分ささゆりにはお会いしたのですけれども、最近ではさっぱりお会いできなくて寂しい思いをしております。たまたま明和区の中でこういう事業をやったらどうかという話がありましたものですから、この間一応皆さんにおはかりしたところ、これは素晴らしいことだということでしたので、提出をさせていただいてお認めいただければ、このような状態で何とか増殖をしたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。

事務局

それでは質疑をお願いしたいと思います。

委員

ささゆりはとてもやさしいですものね。とても和む花だと思います。ここに書いてありますのは、ささゆりというのは増殖するのに下山とかあちらのほうで増殖をして売りに出しているとたくさん聞きますけど、ここに中心にするのであれば、どなたがそういう指導というかなさるのか、また、網ハウスをどういうところに建てられるのか。それから、ささゆりというのは作手全般にありますし、我が家にも自生で出てきますけれども、増殖できたら城山に移したいということですが、城山に移すときは明和の区の人がみんな移してくださるのですか。

## 明和区

今 委員がおっしゃるように、岡崎の方でもだいぶやっておられるというのを以前新聞で拝見したことがあるのですが、作手の中では初めてだと思いますし、やはり城山に限らず、うまくいけば、欲しいところがあればどこへもお配りしたいと考えております。網ハウスは発案者のここに見える

さんが、自分のところの土地で網ハウスをやったらどうかと。一部かかって見えるようなんですけど、ちょっと芽は出るということで、それから先はどういうふうにしていくのかというのはちょっと分からないのですが、それから育てる土地がいるということで、明和区内にもう1箇所貸してくれる土地があるということをお聞きしましたので、是非そこでやらしていただいて、何とか成功したいと思っております。それからこれは区の行事として取り上げたものですから、全員とはいかないですが、それぞれ意気込みのある方が何人かおみえになるものですから、その方たちお願いして何とか成功させたいなと思っております。

### 委員

今、指導者はといふに聞かせていただいた理由というか、ここに作手の人たちの花木協会とか色々な人たちの話を聞いています。バイオとかいうそういう仕方というか、育成の状態をよく聞きますので、そういうことに詳しい人たちがたぶんやられるのであろうと思いましたが、主となる人がおられたら聞かせて欲しいなと思いました。

## 明和区

主となる人といえば、ここに見える さんがやっていただけかなあと思っております。それから他に区内にもハウスをやっている方3人ほど見えるものですから、その方たちにも当然お願いしたりご意見を伺ったり、協力していただいて、やっていこうと思っております。こんなことを言っただけでは不謹慎ですが、最終的にはどうなるかはやってみなければわからない。この地域でやるということが、しかし岡崎のほうでは成功して見えるということで、聞いておるものですから、何とか作手でも良いんじゃないかな。当然この地域にあったもので、たくさん咲いていた時期があったと思っておりますので、またぜひ復活させたいと思っております。

### 委員

メインは網ハウスの原材料費ですよ。46万円という総事業費ですが。これの具体的な明細か何かは持っておられますでしょうか。それが1点と、ささゆりに取り組まれるというのは非常に素敵なことで、ぜひこのような形になっていくといいなと私も思うのですが、網ハウスを一度建てると、一回やってうまくいかないから来年は止めようというようなことになっては、せっかくやられても、この事業は、まちづくりのものですから、継続して地区の人たちが中心で参画して、そしてうまくいく、いかないをチャレンジされて、それであると継続的に、これ生き物なものですから世話をしなければいけ

ないということがあると思うんですね、だからそういうところをどういうふうにしていくかということ、たぶん今お話があったように、中心になれる方もいらっしゃるようなものですから、もうスタート、建設も始められるということで7月からになっておりますので、やはり中心になってやられる方の責任とか位置付けとかをきちんとされておかないと、じゃあ失敗したらどうするのか。誰が責任を取るのかとかになってはつまらないものですから。失敗したら失敗したにしてもチャレンジしたことによって、皆さんが協力すれば、まちづくりとしていい。成功するに越したことは無いですよ。でもそれは一つの地域づくりのいいきっかけにもなるかも分かりませんし、そういうものを生かせるような組織だとか運営だとかそういうものをぜひ区長さんがリードしていただいて、早急にそこを明確にさせていただいたほうがいいと思います。

明和区長

当然区の行事として、今回立ち上げたということですので、ただ一部の人ができるということではないと区民の皆さんも思っておられる。関心のある方ない方は中にはあるのですが、特に若い方たちに参加していただいて、確におっしゃるとおり1年経ったらだめだったということであっても、それで終わってしまっただけはお金をもらった意味が無いし、何とか継続したいと。これは個人的にも十分思っているものですから、その辺を十分お汲み取りを願いたいと思います。

委員

種を取って花が咲くのに、どれくらいかかるものなのですか。

明和区長

8年です。

委員

8年かかるわけですか。

委員

苗のことですので、1年に何本できるということは分からないと思いますけれども、最初の目標は何本くらいでしょうか。

明和区

．．．

会長

時間ですのでこの辺で、できるだけ大勢の人が参加して作業に当たることが必要であろうと思いますので、大勢の人を巻き込んでやっていただければと思います。ありがとうございました。

明和区

退室

事務局

今から審査のほうをお願いします。

各委員

審査 5 分間

事務局

それでは審査を終了ししてください。4 番目の方に入ってください。

あめんぼ読書会

入室

事務局

それでは、4 番目の本と人をつなぐ つくで・本の森フェスティバルということで、あめんぼ読書会の方に来ていただいておりますので、説明をお願いしたいと思います。

あめんぼ読書会

よろしくお願いします。あめんぼ読書会の と です。あめんぼ読書会の企画、本と人をつなぐ つくで・本の森フェスティバルについて説明させていただきます。事業説明の前に、この企画を提出したあめんぼ読書会について少しお話をさせていただきます。あめんぼ読書会は昭和 59 年、今から 22 年前ですが、当時小学生の子供を持っていたお母さん仲間数人で作ったグループで、絵本を中心に本に関する情報交換をしたりするところから出発しました。その後 10 年ほど経ってから、会員の中から子供たちにもっと本と親しむ場所を作りたいということで、この村に図書館が欲しいという声が出るようになり、役場のほうにもそんな希望を伝えてきました。その中で開発センターの中にある図書室ですが、当時はまだあまり活用されていませんでしたけれど、その図書室の運営管理をあめんぼ読書会でさせていただけることになりました。年間予算も計上していただいていた雑誌や絵本なども定期的に購入できるようになり、徐々にたくさんの方が訪れてくださるようになりました。また、その後設置された街角図書館の管理も任されて、本の入れ替えや整備など読書会でずっと受け持ってきました。この街角図書館は広報しんしろの先月号 7 月号で、新城市が環境首都コンテスト第 2 位を受賞した理由の一つにあげられておりました。関わったグループとしては本当にうれしい思いをいたしました。その後 2002 年にあめんぼ読書会を母体にして、作手の図書館のこと話そう会というのができました。協同して図書館の必要性についてのアピールをずっとして参りました。そして合併前の 2003 年に、作手村 100 周年事業の一つで村民ホール図書館設立が盛り込まれて、本当に喜んだのですが、その後予算のこととか合併などの条件があって、実現に至ってないのが現状です。私たちはこうした活動の中で、図書館の必要性や本に親しむことの大切さをずっと考えてきましたが、それについてはこちらの申請書のほうに、概要に述べさせていただきましたので、ご覧いただければと思います。今回の事業の目的ですが、図書館への思いをこめて、図書館の魅力とその必要性それからその意義をアピールするとともに、本の持つたくさんの世界や楽しさを朗読や音楽、トークなど色々な形で表現

したいということを目的としています。具体的な内容についてお話いたします。事業内容は4つです。申請書とはちょっと順序が前後しますが、お許しください。一つはお話フェスティバルです。「くどうなおこ」という詩や童話を書いていらっしゃる作家の方ですけれども、[ねこはしる]というお話があります。ご存知の方もいらっしゃるかも知れませんが。それを朗読劇という形で公演したいと思っております。猫らしくないのろまな「らん」という名前の猫と、小さな池で一匹だけで住んでいる魚の出会いを通して、命というものを考えていく。内容は深いのですけれどもとても優しい言葉で書かれた素晴らしい作品です。これを作手地区の小学生、中学生、高校生、大人。年代を越えたたくさんの方たちに参加していただいて、声を出して本を読むことで、共通の思いや共通の世界を感じていただけたら、素晴らしいのではないかなと思っております。もし実現することになれば、各小学校で読み聞かせをしていらっしゃる方や、この審議会の民様にも是非参加していただければうれしいと思います。演出には豊橋の演劇塾の方で黄柳野高校の演劇指導もしていらっしゃる、「坂本」という若い演出家の方をお願いしたいと考えています。これにかかる予算ですが、演出者へのお礼、それから生ピアノで音楽を付けてもらいますので謝礼を合わせて6万円計上しております。2つ目は童謡サロンです。「深川和美」というこの方はプロの音楽家ですが、中心とする4人のグループです。親しみやすい童謡を歌や楽器ダンスなどでアレンジした、とても楽しい舞台で今各地で大人気のグループです。日本語の豊かな美しさやリズムメロディーを感じていただいて、子供も大人もともに楽しんでいただけたらと思います。予算は出演料・交通費・宿泊費含めて30万円、ピアノ調律や音響などで4万円を予定しております。この公演につきましては、チケット代300円を参加者の方からいただきたいなというふうにして予定しております。3つ目は写真の展示と講演です。一つは全国の図書館を回って、図書館を中心とした写真を撮ってこられた「漆原宏」という方の写真、そして、カンボジアの地雷の後遺症に悩む人たちの写真。これは「糸川真木彦」という写真家の写真の展示です。そして、「漆原」さんからは写真の展示だけでなく、その豊富な経験から地域に根ざした図書館のあり方について、講演をいただきたいと思っております。これに伴う予算ですが、写真の借り上げ料と講演の謝礼として10万円を予定しております。ここまで3つの事業は11月26日の一日、もしくは一つは前日にというふうに思っております。4つ目は、・・・ 説明時間終了

会長

ありがとうございました。委員の方からご質問等ございましたらお願いをいたしたいと思っております。

委員

事務局の方に質問ですが、申請のときの規定の中に色々あったと思うのですが、私の知る限りではあめんぼ読書会さんは、他の補助金をいただいて

おと思うのですが、その辺が事業で補助金をいただけないのか、会でいただけないのかというのだけ確認をさせていただきたいのですが。

事務局

事業での申請ということで、事業に対する補助という考え方です。

委員

非常にオリジナルティー高い企画で素晴らしいと思います。ちょっと質問なんですけど、私あまり有名人さんの出演料なんていくら分からないから、事業の企画の中で30万円、4人だということを知ったから4人ならと思うのですけれども、ウエイトが高いですね。30万円が高いか安いかはそちらの道の人しか分からないですけれども、これは非常にいいことで、思いは皆さんに本を読むことの楽しさとか、童話とかそういうものの親しみを持っていただいて輪を広げていこうと、関心を持っていただこうというのが狙いだと思うんですね。それでせっかくなものですから、1日だけの企画ではもったいないと思うのです。写真家の方の展示ですとかカンボジアの写真パネル。これも1日だけではもったいない。もっとやればいいということをお考えになっておられるのか、ということと、それから深川和美さんの童謡サロンも2時間ですね。場所はリフレッシュセンターということで、あそこはたくさん入らないですね。それでチケットを売るのも100人くらいというふうにされていますので、100人だったらあまり料金も入ってこないし、せっかくたぶん有名な方だし楽しいのだから、そんな狭いところでやらずにもっとでかいところでやられたらどうですか。作手の中では開発センターのホールが一番広いかどうかは知りませんが、場所も考える余地があるのか100人じゃもったいないもので、もっと大きくやれるところ、色々開発センターだけでなく学校の体育館でもやるのに支障があるなら別ですが、やはりたくさんの人に入ってもらって、聞くとか一緒に踊るとか歌うとかできるともっと素晴らしい内容になるのではないかと思うのですが、そのところどうお考えでしょうか。

あめんぼ読書会

ありがとうございます。大体100名というのは、つくでの森の音楽祭というのを今やっているのですが、100名ちょっと位、120名位でしょうか、130名くらい、もっと入るかな。あそこのリフレッシュセンターでOKということで、それ以上の人数、300人集めよう、400人集めようということになりますと、もちろん他に呼びかけようと思いますけれども、大変苦しいような状況もあると思ひまして、これ位が妥当かなということで一応設定をいたしました。予算についての30万円ですけど、神戸から呼びますので、4人分の交通費それから午後になりますので、宿泊ももしかしたら入るかもしれないということでこの予算です。日にちが一日ということについては、今は一日で考えていますが、写真家の方の講演と展示は前日に回すことも今考えております。

委員

これは主体者が作手地区であればいいと思うので、オリジナルティー高いものは今でも音楽の関係は新城全域ですか、PRされていると思うので、100人と遠慮しないで、計画の中でチラシも遠慮されて、わずかなすすめの涙くらいしかないから、これをもっと倍か3倍くらいにされるか、新城の方も対象にされてPRされれば、もっと増やせるのではないかなと思いますので、考える余地があれば考えていただければ幸いです。以上です。

あめんぼ読書会

ありがとうございます。

委員

今、森の音楽祭という言葉が出たのですけれども、最初からそういうところとお話し合いをして、共同でこういう事業をやったらどうかなあというふうに思っておったものですから、そういうお話し合いとかそういうことをされたことは無いですか。

あめんぼ読書会

今回の事業については話しておりません。と言いますのは、森の音楽祭は年間事業として、その年が始まる前に翌年度の企画を決めますので、この話はその後からのものになりますので、その時点ではまだこのお話はもっていません。

会長

よろしいですか。それでは時間がきたようですので、これで終わらせていただきます。ありがとうございました。

あめんぼ読書会

退室

事務局

それでは審査表の記入をお願いしたいと思います。

各委員

審査 5分間

事務局

それでは審査を終了してください。

会長

それではここで休憩します。

14:58

- 休憩 -

15:05

議題(2)「新市まちづくり計画の進捗状況」に対する答申について

会長

それでは続きまして、( 2 )「新市まちづくり計画の進捗状況」に対する答申についてを議題とします。事務局から説明をお願いします。

事務局

はい。それではお手元に配布させていただいております、2枚3ページの新市まちづくり計画の進捗状況についての答申、案の案ということで、私のほうで前回までに皆さんから色々ご意見、ご要望等いただいたことをまとめさせていただいております。まとめ方といたしましては、新市まちづくり計画の7つの基本方針がございます。1番の自然環境の保全と共生のまちづくりから、7番の健全な行財政運営をめざすまちづくりまで、それにその他という項目を一つ設けまして、このようなかたちで前回までの皆さんからのご意見等をまとめさせていただいております。本日はこれを持ち帰っていただきまして、内容のご訂正、追加等あれば次回会議で発表いただければと思います。それからもう一つ、未定稿ということで前回第5回の審議会の会議録をお配りさせていただいております。前回お送りしました各課長回答のものと一緒に併せてご覧いただきまして、内容をご確認いただきながら答申案に目を通していただければと考えております。以上でございます。

委員

ちょっと字が小さいので読みづらい。

事務局

前回と同じ字の大きさで作成したところ、50数ページになってしまいましたので、少し小さくしてありますのでよろしくをお願いします。なお、今回は誰の発言かわかるようにお名前を記載してありますが、実際には委員のお名前は、従前通り表記で作成し、ご署名をいただいた後会議録として残して参りますのでよろしくをお願いします。

委員

新市まちづくり計画の進捗状況関係は、今までに2回か3回行いましたが、この会議録には未定稿第5回作手地域審議会と記載してありますが、前回だけですか。

事務局

この会議録は前回分の経済課と地域振興課のみです。その前のものについては、各課長が回答した内容の要点をまとめた表を、今回の会議開催通知と一緒に送付させていただいております。ただし、どうしてもということであれば、第4回分の会議録の写しをお渡しします。

委員

要点をまとめた表には第5回分の経済課と地域振興課の分も含まれていますか。

事務局

全て含めて記載してあります。



委員

表に記載の順番はどのようにしてありますか。

事務局

新市まちづくり計画の7つの基本方針の順番で記載してあります。

委員

この一覧表に回答の主旨は全て記載してあるということですね。

事務局

そうです。要点のみ記載してあります。

会長

各項目ごとに意見を集約した答申案を、事務局で作成していただきました。よく内容を確認していただいて、追加する部分、削除修正する部分等があるのかどうか、確認作業には時間がかかるとお思いますので、先程事務局から説明があったように持ち帰っていただきまして、次回内容について意見交換をして、とりまとめるという形でいかがでしょうか。

委員

はい。

会長

はいどうぞ。

委員

この答申については、我々審議会の役割の一つということで、前にも伺いましたが、この答申の日程についてのトータルスケジュールを再確認したいのと、他の地域審議会と同じような内容のものや、作手地区だけでなく広域にわたるもの。特に前回の森林とか農政とか、新城全体に関わる場所のものをどう取り上げていくのか。以上2点について伺いたい。

事務局

スケジュールにつきましては、前回お話ししたとおり9月下旬までには提出したいと考えております。ですから、今後のスケジュールとしては、来月1回。9月中旬頃の計2回程審議会を目を通していただいて、最終案を作成したうえで、9月の下旬頃までに提出したいと考えております。次に、先程の広域的なという点ですが、前回ご質問いただいた経済課の回答が今回間に合いませんでしたので、経済課でまとめたものを事前にお配りするなどの対応をしたいと思っています。なお、主たる答申としては、作手の地域審議会が答申するものですので、その辺に趣をおいていただくのが一番良いのではと思います。

委員

作手地区の地域審議会ではあるが、作手地区も全体の一部分であるから、広域のところは関係ないということではないと思いますが。

事務局

広域的な内容についても当然よろしいですが、作手地域審議会ですので、

作手地区のことを中心においていただく方がよろしいかと思えます。広域的なことについても、委員の皆さんの総意で取り上げていただくことも良いと思えます。

会長

新城・鳳来の地域審議会についても、答申の内容については、どういう事業について、どういうふうにして欲しいといった格好でやられるわけですね。

事務局

3地域の事務局担当で内容についての話はしていませんが、作手が一番最初になりますので、このようなかたちになるのではと思われませんが。

委員

すみません。

会長

はいどうぞ。

委員

進捗状況についての答申について、話し合ったというのは5回だけじゃないですよ。何回と何回になりますかね。

事務局

4回と5回のときに各課の説明を聞いて質疑応答をしました。

委員

それではやはり4回の会議録もいただけますか。

事務局

わかりました。お配りします。

会長

それではよろしいですか。

委員

すみません。

会長

はいどうぞ。

委員

今の話とは違いますが、新城市めざせ明日のまちづくり事業の審査についてですが、今日審査した事業の他に申請があったものがありますか。

事務局

申請はもう1件ありました。

委員

先程の審査の中で 委員からも質問がありましたが、あめんぼ読書会には他の助成金が出ていると、が、事業に対する補助であるからというような担当の説明があったわけですけれども、今聞くと他にも申請があったと、それは職員の段階で打ち切られたじゃないかと思えますけれども、そういう職員の主観で切るというのではなくて、やはり審議会のほうへ提出していただ

いて、そこで良く審査して、すべきじゃないかと。審査方法とかそういうこともあろうかとは思いますが、提出していただいて土俵の上で審査すべきではないかなあというふうに思いますので、今後、申請のあったものはこの審査会のほうへ出してもらって、審査をすべきではないかというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。

事務局

はい。わかりました。冒頭にお話しましたように、閉会後に審査の方法等、皆様のご意見を伺いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

委員

はい。

会長

はいどうぞ。

委員

新城市の予算の進捗状況について、4半期ごとにまとめているのではないかと思います。4月から6月までが終わっていますので、それが議会に報告されるのか。いつ頃報告されるのか。全体と作手の分について、前回抽出していただきましたが、それがどのようになっているのか。4半期ごとに知りたいです。それと絡めてどのようなことを強くお話しするかということもありますので。

事務局

財政の関係になりますが、財政状況については年2回広報誌により広報することになっております。

委員

それでは4月から6月はないということですね。

事務局

今の段階では出せないということです。4月から9月が11月ということです。

委員

はい。

会長

よろしいですか。それでは4番その他の次回開催について事務局お願いします。

事務局

事務局といたしましては、8月24日(木)と25日(金)あたりでお願いしたいのですが。

委員

25日は都合が悪いのでできたら24日でお願いしたい。

事務局

それでは24日でよろしいでしょうか。

委員

仕事の都合で出られない 委員のためにも、新城では夜やっているということであるが。夜のほうが長くやれるということもあるし、夜のほうが良いというご希望があるならいかがですか。

事務局

新城市が夜開催したというのは勉強会であり、審議会は昼間開催しているということです。1回目か2回目に同様の話があり、休みとか夜ということでは皆さんのご都合がよろしければ、事務局としては構いませんが。

委員

8月24日で時間をずらしてはどうか。

委員

委員はお仕事の都合でどうしても出られない。厳しいのかな。

事務局

夜ならご出席いただけるのかはわかりません。

会長

夜なら確実に出席できるのですか。

委員

ここに見える方はどうですか。夜なら確実に出られるなら夜でも良いのでは。

委員

夜というか夕方というか。ただの提案ですので、ダメならだめでよいのですが。

会長

一応今までどおり昼間の開催ということにして、もし都合が悪い場合は、前もって資料を送りますので、ご意見等ございましたら事務局でお聞きするなどすることにして、まずは今までどおりやってみますか。

事務局

それでは、次回、8月24日木曜日午後1時30分からこの会場で開催いたしますのでよろしくお願いしたいと思います。

委員

あと何回ぐらい開催予定ですか。

事務局

答申までは8月と9月のあと2回です。

委員

10月以降はないのですか。

事務局

現在のところ答申までの話しかしていないので、それ以降については、決まっておられません。他の審議会とも相談したいと思います。

会長

それではありがとうございました。第6回の作手地域審議会を閉会とさせていただきます。

15：30閉会